

Go Beyond～今の自分を越えてゆけ！～

校長漫筆記

令和8年7月10日
姫路市立高等学校
校長通信 第14号
文責 平山智樹

姫路の未来は私が動かす ～「なぜ？」から始まる探究学習～

日々の面談や説明会の中で、多くの生徒や保護者の皆様から「大学入試共通テストでいかに点数を取るか」

「志望校の合格ラインにどう届かせるか」という切実な声を伺います。行きたい大学があり、そのために机に向かって猛勉強する。その努力は本当に尊いものであり、本校としても全力で応援しています。



しかし同時に、いま教育現場で最も重要視されている「探究学習（総合的な探究の時間）」に対して、「受験に関係ないのでは？」「その時間があるなら英単語を一つでも覚えた方がいい」と感じている方も少なくないのではないのでしょうか。

今回は、なぜ今、高校で「探究学習」が必要なのか、そしてそれが皆さんの受験や将来にどう結びついているのかについて、本校の取り組みを交えてお伝えしたいと思います。

まず、現実的な「大学受験」という観点からお話しします。結論から言うと、探究学習は受験に不利になるどころか、強力な武器になります。

現在、国公立・私立を問わず、大学入試の形は大きく変わっています。推薦入試や総合型選抜の枠が拡大していますが、そこでは「高校時代に何を学び、どう行動したか」というプロセスが厳しく問われます。

また、共通テストをはじめとする一般入試でも、単なる暗記量ではなく、「初見のデータや資料を読み解き、課題を解決する思考力」を問う問題が主流になっています。探究学習で培う「課題を見つけ、情報を集め、分析してまとめる」という一連のサイクルは、まさにこれからの入試で求められる学力の土台そのもののなのです。

勉強において、点数を積み重ねることはもちろん大切です。それは将来の選択肢を広げるための強固な「足場」になります。

そして、探究学習はその足場を使って「自分がどちらの方向に進みたいか」を見つけるための羅針盤です。

探究学習の時間は、「正解」を気にせず、自分の「なぜ？」「どうして？」に徹底的に向き合える贅沢な時間です。失敗しても構いません。自分のワクワクする気持ちを大切に、大いに探究してください。

その具体的な舞台の一つが、今年度、姫路市役所と連携して行う「姫路みらい探究プロジェクト」です。

生徒の皆さんには、まさに『姫路の未来は私が動かす』という意気込みで臨んでほしいと思います。教科書の枠を飛び出し、自分の「好き」や「興味」「疑問」を通じて、地域のリアルな課題に触れること。それこそが、未来の姫路をつくる力となり、同時に皆さん自身の未来を切り拓く力につながることを期待しています。